

# 広野

Obihiro City Hirono Elementary School

学校だより NO. 15  
令和4年10月4日  
帯広市立広野小学校  
文責 校長 新川 和範

## 地域と共に児童生徒を育てる学校づくりを目指して①小中一貫教育の研修会を行いました

学校だより8号でお知らせした、小中一貫教育。小学校と中学校が連携して児童生徒の連続した学びを行っていく教育ですが、9月13日(火)の学校教育指導訪問に合わせて、学力向上推進部会が中心となって行っている、小学校での専科授業の授業公開と合同研修会議を実施しました。

当日は、連続した学びを公開するという事で、中学校の水谷教諭による、中学校での総合的な学習の授業を本校の職員が、小学校での外国語科の授業を中学校の職員が参観しました。

その後、小中学校職員が、小学校の体育館に集まり、授業後の研修会議を行いました。

今回の成果や課題を踏まえ、引き続き、八広の子どもたちの連続かつより良い成長を支えるよう、両校で力を合わせ、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 地域と共に児童生徒を育てる学校づくりを目指して

### ②理科の乗り入れ授業を行っています



小中一貫教育の学力向上推進部会による、中学校教諭による小学校への乗り入れ授業ですが、今回は、中学校の菖蒲先生に来ていただき、6年生の理科の学習を行っていただいております。

菖蒲先生は、小学校で学ぶ学習内容に、より専門的なエッセンスを加え、児童の興味を引くように取り組んでくれています。また、安全を意識した実験や観察などの仕方などについても触れてくれています。このような授業を通して、児童が中学校での学習に対して、ますます楽しみになっていくと期待しております。

今後も、中学校の先生方をお願いして、体育や図画工作を始め、様々な学習の際にご来校いただき、より専門的な知識を教えてもらうことを通して、児童の知識や関心を高め、中学校への期待を膨らませていきたいと考えております。



## 避難訓練・北海道シェイクアウト



9月1日の防災の日を踏まえて、本校でも、9月2日(金)に地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は、保健室から出火したことを想定し、体育館側の非常口から校舎を出て、職員駐車場に集合するという流れで行いました。児童は、全員、真剣に取り組んでいました。

この機会に、ご家庭や地域においても、防災について考え、命を守る意識を高めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



# 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて



4月19日(火)に実施いたしました全国学力量習状況調査(以下、本調査と記します)は、毎年4月に、全国の小学校第6学年、中学校第3学年に対して実施されているものです。本校においても、毎年実施し、その結果を指導の充実や学習状況の改善等に役立てております。

今回、本調査についての結果と分析をまとめましたので、以下、ご報告いたします。加えて、結果と分析を踏まえた、今後の学校における取組とご家庭へのお願いについても添えさせていただきますので、ご一読の方、よろしくお願いいたします。

## <各教科の結果について>

本調査における本校の学力の平均は、国語科、算数科、理科いずれの教科においても、全国平均を上回りました。

これは、日常の授業において「文を読みとること」、「自分の考えをまとめること」、「伝え合うこと」、そして「仲間の考えを聞き共有すること」を積み重ねて取り組んできたことにより培われた確かな学力が、定着した結果であると考えております。加えて、理解した学習内容が定着するよう、漢字の練習や計算練習など、復習の繰り返しやドリル学習を進めてきた成果の表れとも考えております。

今後も引き続き、児童一人一人の学習状況を全職員で把握し共有を図りながら、わかりやすい授業づくりに取り組んでまいります。具体的には、本校の特色ある取組の1つである「かみわざ学習」(授業の中で、児童同士が自ら学びを進めていく学習のこと)において、教師が発する、明確な方向性や具体的な方策について、継続して検討してまいります。

また、学習の様々な場面において活用しているクロームブックを用いて、家庭学習の充実と更なる習慣化に向けた取組を進めてまいります。具体的には、デジタル新聞を活用した新聞記事の要約やeライブラリーを積極的に活用した学習を進めてまいります。加えて、宿題相互点検での全教員によるコメントやアドバイスによるモチベーションの向上、復習バイキング(児童自ら選択して取り組むプリント学習のこと)の活用の充実を進めてまいります。

ご家庭におかれましては、お子さんが学び続ける意識を高めていけるよう、学習環境や学習時間へのご配慮をお願いいたします。また学習内容につきましては、折に触れ、お子さんのノート等を確認していただくとともに、理解しきれていない学習内容やつまづいている学習内容が見つけれられましたら、アドバイスを言ったり、学級担任と共有したりしていただくようお願いいたします。

## <児童質問紙について>

本調査には、学習内容だけではなく、学校や家での勉強や生活の様子について尋ねる児童質問紙もあります。質問紙の中の「自分には、良いところがありますか?」や「将来の夢や目標をもっていますか?」といった質問に対しても、全国と比較して肯定的な回答であることから、昨年度の重点目標「自ら取り組み、表現して、自己有用感を高める子どもの育成」に向けた継続かつ重点的な取組により、自己有用感や道徳性が育ってきていると考えております。

以上のことをふまえ、本校におきましては、今年度の重点目標「自己有用感を高め、夢をかなえる力を育む学校づくり」の実現に向けて、今後も人権教育をはじめとした社会性や集団性を学ぶ活動を通して、きまりを守り、自他を思いやる心を育てていけるよう、取り組んでまいります。

また、テレビやゲーム、スマートフォンにおけるSNSなどの動画視聴時間に対する質問もありましたが、児童の回答結果を見ると、全国より少ない状況でした。児童のより良い成長に向けてのご家庭での配慮、本当にありがとうございます。

引き続き、ご家庭におかれましては、基本的な生活習慣の向上の礎となる、「早寝・早起き・朝ごはん」や「家族を思いやり、助け合う」などの家庭環境づくりにご配慮いただきますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

## 食育指導員さんが食育指導に来てくださいました



10月3日(月)に、帯広市食育指導員の飯田先生が来校し、それぞれの学級で「三大栄養素について」「十勝でとれる魚とその栄養について」「病気を予防する食生活について」をテーマに授業を行っていただきました。児童はしっかり話を聞き、食事の大切さについて再認識していました。

